

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称： 栃木県住環境整備計画(防災・安全)(第二期)

事業主体名： 栃木県・宇都宮市・足利市・栃木市・佐野市・鹿沼市・日光市・小山市・真岡市・大田原市・

矢板市・那須塩原市・さくら市・那須烏山市・下野市・上三川町・益子町・茂木町・市貝町・芳賀町・壬生町・野木町・

塩谷町・高根沢町・那須町・那珂川町

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①地域の住宅ストックや住環境整備の状況等、現状分析が適切になされている。	○
②地域の住宅政策上の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
③関連する各種計画(住生活基本計画等)との整合性が確保されている。	○
④緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。 (該当するものに○) ア 老朽化した住宅ストックの更新 イ 安全面、衛生面等の居住環境の改善 ウ 子育て世帯、高齢者、障害者等の居住の安定の確保 エ 既存住宅ストックの有効活用 オ まちなか居住の推進 カ 地方定住の推進 キ その他(地域の実情に応じた緊急性の高い課題を記入)	○
II. 計画の効果・効率性	
①事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
②十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
③事業効果は、数値、指標等を用いて客観的に示されている。	○
④事業の実施に当たり、福祉施策等との連携が図られている。	○
⑤事業の実施に当たり、民間活力の活用が図られている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
②計画に記載された事業に関連する地方公共団体等の理解が得られている。	○
③計画内容に関し、住民に対する周知が行われている。	○
④計画期間中の計画管理(モニタリング)体制が適切である。	○